

東京都 スポーツ推進委員だより

第116号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2019年1月16日

編集：情報委員会

ご挨拶



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

スポーツ推進委員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年は、自然界では豪雨、地震、台風などが猛威を振るい、スポーツ界では暴力やパワハラなどの不祥事が多発するなど、多難な年でありました。

そうした中、当協議会の最大の課題であった関東スポーツ推進委員研究大会（東京大会）は、2千名を超える参加をいただき、成功裏に実施することができました。これも会員の皆様、関係行政並びにご支援いただいた多くの皆様のお力添えによることであり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年は、①平成の時代から新たな時代へと移り変わることで、②ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されること、③2020東京オリンピック・パラリンピック開催まで1年を切り準備が大詰めを迎えること、④スポーツ推進委員制度のより良いあり方について、全国スポーツ推進委員連合がスポーツ庁と連携して6月までに素案を示す予定であることなど、私

たちを取り巻く環境は大きく変わっていきます。

こうした環境の変化をうまく利用して、都民のスポーツ実施率70%の達成に向けた取り組みをさらに加速させていくことが重要であり、私たちスポーツ推進委員への期待は益々高まっていくものと思います。そうした期待に応え、より良い活動をしていくためには、自らが心身ともに健康でなければなりません。健康第一で活動していきましょう。

当協議会としては、先ず2月の関東スポーツ推進委員協議会第2回理事会に1年間の活動を報告し、役割を埼玉県に引き継ぎます。それ以降は特別の行事等の予定はありませんが、新しい時代に求められる役割に柔軟に対応していけるよう情報を収集し、「猪見て矢を引く」ことのないように活動してまいります。引き続き皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会長 新島 二三彦

社員総会



平成30年度 第2回社員総会

9月26日（水）午後6時30分から武蔵野公会堂会議室で一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会平成30年度 第2回社員総会が中川副会長の司会で開催されました。

新島二三彦会長から6月に開催された平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会東京大会が東京都スポーツ推進委員協議会会員の協力により成功裏に終わったことに対し感謝のお礼そして労いの挨拶がありました。

ごあいさつは、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長井内雅妃様から、3月に策定された東京都スポーツ推進総合計画の3つの政策目標と30の政策指針がいかに推進委員の力が重要であるかを、行動変容ステージモデルの考え方として示されていることと、益々力を発揮してほしいと激励の言葉がありました。また東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 松下典子様同じく課長代理 小坂

田みゆ様からは「スポーツTOKYOインフォメーション」ポータルサイト内にスポーツ推進委員の紹介ページが開設されたこと、スポーツ関連事業、ラグビーワールドカップ2019関連のインフォメーション等についてご紹介いただきました。



議事に入る前に、東京都スポーツ推進委員OB会からの賛助金寄付を新島会長が代表して受領しました。

定足数の確認が行われ、出席43名、委任状6名、合計49名で正社員の過半数を満たしており、総会は成立し定款に基づき新島会長が議長となり議事に入りました。

<議事>

1. 報告事項

- 1) 理事会報告<第3回:6月13日(水)>
<第4回:7月11日(水)>
<第5回:9月12日(水)>
- 2) 各委員会報告<企画総務・研修・情報・女性>
- 3) 財務報告<会費・賛助金他>
- 4) 全国連合定時総会<6月7日(木)>
- 5) 関東スポーツ推進委員理事会・女性委員会
<6月8日(金)>
- 6) 関東スポーツ推進委員研究大会(東京都)
<6月8日(金)~9日(土)>
- 7) 都スポ協会長会<6月17日(日)>
- 8) 平成31年度広域地区別研修会事前説明会
<7月23日(月)>
- 9) 東京都スポーツ振興審議会
<7月27日(金)>
- 10) 実務研修会<8月5日(日)>
- 11) 東京都初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
<7月16日.8月11日.12日.18日.19日>
- 12) 平成30年度全国スポーツ推進委員
<功労者表彰.30年勤続表彰.優良団体表彰者>



- 13) 平成30年度 広域地区別研修会報告
<担当地区>
- ①第1ブロック 7月7日(土)中央区
- ②第2ブロック 9月8日(土)文京区
- ③第3ブロック 9月2日(日)目黒区
- ④第4ブロック 9月1日(土)豊島区
- ⑤第6ブロック 9月15日(土)日野市

- ⑥第7ブロック 9月1日(土)奥多摩町
- ⑦第8ブロック 7月7日(土)立川市
- ⑧第9ブロック 9月8日(土)狛江市
- 14) リーダー委員会報告
- 15) その他
2. 今後の事業について
 - 1) 課題別研修会<11月10日(土)>
新宿スポーツセンター大会議室
 - 2) 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会
鹿児島大会<11月15日(木)16日(金)>
 - 3) 女性委員会企画研修会<12月1日(土)>
中央区立総合スポーツセンター
 - 4) 地域スポーツ支援研修会
 - *区部:平成31年1月26日(土)
港区立男女平等参画センターホー「リーブラ」
田町駅
 - *市町村部:平成31年2月9日(土)
立川市女性総合センター「1F ホール」
立川駅
 - *全域①②:平成31年2月16日(土)
目黒区八雲体育館 東急東横線 都立大駅
 - *全域③④:平成31年2月23日(土)
文京区文京総合体育館
都営大江戸線 本郷三丁目駅
 - 5) その他
定款の見直しについて

総会は質疑応答の後、全て承認されました。
閉会の辞では今日の協議事項を各地元に持ち帰り、地域の皆さんや全ての会員と共有し活きた活動に発展させましようとの島田副会長の言葉で閉会となりました。

記事 白鳥 敏子 情報委員会(北区)
写真 仲 豊子 情報委員会(台東区)

社員総会



平成30年度 第3回社員総会

12月12日(水)午後6時30分から練馬区役所で一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 平成30年度第3回社員総会が開催されました。

新島二三彦会長の挨拶の後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 井内雅妃様からは、様々な研究会実施等に関する東京都のスポーツ振興に関する感謝の言葉と東京2020オリンピック・パラリンピックの都市ボランティアの応募総数が2万人を達成した旨のご報告がなされました。

続いて、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 松下典子様、同じく

小坂田みゆ様兩名から最新情報の提供がありました。

定足数の確認では、出席41名、委任状9名、合計50名で正会員の過半数を満たしており、総会が成立し、議長は定款に基づき新島会長が行いました。



<議事>

- (1) 報告事項

- 1) 理事会報告<第6回：10月10日(水)>
<第7回：11月7日(水)>
- 2) 各委員会報告<企画総務・研修・情報・女性>
- 3) 財務報告<会費・賛助金他>
- 4) 平成30年度関東研究大会(東京大会)収支決算報告
- 5) 平成30年度広域地区別研修会報告
 - ①第5ブロック 9月29日(土) 足立区
 - ②第10ブロック 9月29日(土) 清瀬市
 - ③第11ブロック 11月30日(金)
八丈町・青ヶ島村
- 6) 課題別研修会<11月10日(土)>
- 7) 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会
鹿児島大会<11月15日(木)・16日(金)>
- 8) 第2回関東女性委員会<11月30日(金)>
- 9) 女性委員会企画研修会<12月1日(土)>
- 10) 東京マラソン2019ボランティアについて



(2) 今後の事業について

1) 地域スポーツ支援研修会

- *区部：平成31年1月26日(土)
港区立 男女平等参画センター『リーブラ』
田町駅
- *市町村部：平成31年2月9日(土)
立川市女性総合センター・アイム

『1Fホール』 立川駅

- *全域①②：平成31年2月16日(土)
目黒区八雲体育館 都立大学駅
- *全域③④：平成31年2月17日(日)
多摩障害者スポーツセンター 飛田給駅
改修工事の為、味の素スタジアム内に
仮事務所

2) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2019 徳島<平成31年2月1日(金)>

3) リーダー養成講習会 国立オリンピック記念 青少年総合センター <平成31年3月9日(土)・10日(日)>

(3) 協議事項

- 1) 定款見直し(役員任期)について
「社員の任期と設立時社員の任期が1年のズレが生じている」手続き上の課題に関して、議長より改正の提案があり、全会一致により「定款は変更せず、平成32年度に役員任期を調整することでズレを解消する」と決定されました。

2) その他

議長より、東京都スポーツ推進委員協議会各地区(対抗)のポッチャ大会実施の提案がありましたが、引き続きの検討事項とされました。

提案議案はすべて承認され、島田副会長の閉会の辞で総会は終了しました。

記事 斎藤 利之 情報委員会(東久留米市)
写真 仲 豊子 情報委員会(台東区)

全国大会



第59回全国スポーツ推進委員研究協議会・表彰

11月15日(木)、16日(金)の両日「スポーツの力で輝く未来!」の大会テーマのもと、鹿児島県鹿児島市の「鹿児島アリーナ」をメイン会場として、第59回全国スポーツ推進委員研究協議会、鹿児島大会が開催されました。



1日目は歓迎アトラクションとして鹿児島実業高等学校新体操部による演技とラジオ体操が行われました。開会式のあと表彰式が行われ都スポ協関係者も多数受賞されました。

講演は「水泳と私」と題し、柴田亜衣さん(アテネ五輪女子水泳800M自由形金メダリスト)が水泳と

の出会いから金メダルを取るまでをお話しされました。

中学生の頃はオリンピックに出られるだろうという選手ではなかったが、ちょっと頑張ったら達成できるような目標を持ち続け、他人と比較しないこと、そして好きになることを心掛けて水泳を続けてきたそうです。

シンポジウムは、「スポーツで輝く未来に向けて～スポーツで創る強い絆と活力ある地域社会づくりを目指して～」というテーマで、コーディネーター柳沢和雄氏(筑波大学体育系教授)の進行により、シンポジストとして、作野誠一氏(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)、小澤多賀子氏(NPO法人日



の出会いから金メダルを取るまでをお話しされました。

本健康加齢推進機構理事)、金山千広氏(立命館大学産業社会部教授)、松橋崇史氏(拓殖大学商学部准教授)をお迎えして、各専門分野からスポーツの持つ未来に向けた可能性についてお話いただきました。

2日目は4つの分科会に分かれて、各々のテーマについて事例発表と討論が行われました。

第1分科会「スポーツで輝く未来を楽しく!~地域の課題を解決するスポーツクラブの実現を目指して~」コーディネーター 作野誠一氏(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)、発表者 太田敬介氏(鹿児島県:NPO法人SCC理事長)、上杉健太氏(長野県:一般社団法人たかぎスポーツクラブ理事・クラブマネジャー)、篠島幹昌氏(埼玉県:一般社団法人ふじみ野ふあいふるクラブ理事長)

第2分科会「スポーツで輝く未来を元気に!~健康で生き生きと暮らせる長寿社会の実現を目指して~」コーディネーター 小澤多賀子氏(NPO法人日本健康加齢推進機構理事)、発表者 中垣内真樹氏(鹿児島県:鹿屋体育大学スポーツ生命科学系教授)、宮崎武洋氏(長崎県:長崎市スポーツ推進委員協議会会長)、吉村孝子氏(茨城県:みなと waiwai クラブ クラブマネ

ジャー)

第3分科会「スポーツで輝く未来を笑顔に!~障害者と健常者が共に実践できる生涯スポーツを目指して~」コーディネーター 金山千広氏(立命館大学産業社会部教授)、発表者 前田究氏(鹿児島県:社会福祉法人鹿児島県身体障害者福祉協会スポーツ情報課長)、岡本真奈美氏(宮崎県:延岡市スポーツ推進委員協議会会長)、櫻木英一氏(福岡県:NPO法人ウェブスポーツクラブ21西国分クラブマネジャー)

第4分科会「スポーツで輝く未来を明るく!~スポーツと観光が結びついた地域の活性化を目指して~」コーディネーター 松橋崇史氏(拓殖大学商学部准教授)、発表者 坂本大蔵氏(愛媛県:企画振興部政策企画局サイクリング普及調整監)、森朋子氏(山口県:宇部市スポーツコミッション事務局)、別府竜人氏(鹿児島県:いぶすき菜の花マラソン大会実行委員会副実行委員長)

今大会ではスポーツと地域社会、長寿社会、障害者、観光との取り組み方を考える中で、スポーツ推進委員の役割や活動について参考となる研究内容でした。

<受賞者の皆様>

「敬称略」

<文部科学大臣表彰>

<優良団体表彰>



土橋 賢一(瑞穂町)



島田 泰子(墨田区)

品川区スポーツ推進委員会

<スポーツ推進委員功労者表彰>



飯ヶ谷美恵(足立区)



瀧吉晴(千代田区)



三神敏夫(東大和市)



渡部実知子(三鷹市)



小栗早苗(墨田区)

<30年勤続スポーツ推進委員表彰>

島田 泰子(墨田区) 栗原 裕子(練馬区) 杉山 喜廣(日野市) 川島 良夫(武蔵村山市)

記事 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区) 写真 才郷 正次 情報委員会(東大和市)

研修会



初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

7月16日(月・祝)から8月19日(日)に開催された平成30年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会に参加しました。

受講者70名をA日程・B日程に分け「新宿コズミックスポーツセンター」に於いて4日間の講習会が開催されました。

1日目 開講式後、講義『障がい者スポーツの意義と理念』実技『障がいの理解とスポーツ(知的障がい)』講義『全国障害者スポーツ大会の概要』

2日目 講義『ボランティア論』『(公財)日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度』実技『障がいの理解とスポーツ(肢体不自由①)』講義『安全管理』

3日目 実技『障がいの理解とスポーツ(肢体不自由②)』『障がい者との交流』『障がいの理解とスポーツ(視覚・聴覚障がい)』

4日目 講義『障がい者福祉施策』『東京都の障害者スポーツ』『障がいの理解とスポーツ(精神障がい)』『レポート作成』、閉講式

以上の基準カリキュラムを受講し、認定証を受け取ることができました。

最初の講義で印象に残った言葉は、「障がいのない人はスポーツをした方がよいが、障がいのある人はスポーツをしなければならない」という車いすアスリートのハインツ・フライという方の言葉でした。まずリハビリから始まり、体力・機能の向上(身体的効果)、楽しさ・生きがい(心理的効果)、友人・仲間・社会参加(社会的効果)へと繋がり、障がいのある方にとってスポーツが大切なことを学びました。

また、実技を通して学ぶことも多かったです。実際に不自由さを体験することにより、どのように手助けしてほしいのかを実感できましたし、東京都障害者総合スポーツセンターの利用者の方々の前向きな声を聞き、感慨深いものがありました。

そして、それぞれの障がいの特性を理解して、日々向き合っている現場の指導者の方々からも、多くを学ぶことができました。

今回の受講を機に、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」を目指して、私たちスポーツ推進委員にできることは何かを考えながら、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

記事 荅口 祐子 (三鷹市)

研修会



実務研修会

8月5日(日)14時から板橋区仲宿地域センターにおいて、女性向け創業支援施設「パシオンTOKYO」センター長 坂田静香氏を講師に招き「人が集まる講座とチラシの作り方」と題して研修会が行われました。連日の猛暑の中95名の参加がありました。



講師から、人の集まらない講座の言い訳について、トップ3の紹介がありました。

1位：開き直る。2位：市民の意識が低いから。3位：天気が悪かった。の順になっています。

その他に、番外編として、「都市部以外の地方では、そもそも人が少ないという地域性の違いがあるから」と説明がありました。

次に、「企画力向上ワーク」として、18のグループに分かれ、これまで実際に講師が作られた5種類のチラシのタイトルや内容についてディスカッションを行い、ベストとワーストの講座について各グループからの発表を行いました。



人が集まる講座にするためには「企画力」と「広報力」が必要であり、それらの向上のためには、他の同様の講座の内容や集客のリサーチ、以前行った講座のアンケート結果の分析などから、どのような講座が求められているのかをリサーチし、対象者に響く言葉を探ることが必要です。

講座の内容をわかり易くするためには、「キャッチコピー」が大切です。そのつけ方は、誰のために何をするのかを、ゴールが見え、対象者がわかる断定系もしくは体言止めを用いる方法でつけます。子どもや親子向けは楽しそうなタイトル且つ面白そうと思って貰えるものが良いでしょう。講師のセールスポイントを入れ込むのも重要です。

今まで話した中で、もっとも大切な事は…「まずは企画ありき！」である。①対象者をはっきりさせる(どなたでも参加出来ますでも良い) ②対象者の心に響くゴールの見えるタイトルを付ける(楽しそう面白そうは子ども向け)③担当者の熱意と努力(あきらめずに)が伝わるような企画をしましょう。先ずはやってみる

ことです。

我が地区では、行政が行事のチラシを作成していますが、今回の研修内容を役立て、もっとかかわっていきたいと思いました。

記事・写真 情報委員会 長崎 より子(千代田区)

研修会



課題別研修会

11月10日(土)午後1時から、新宿スポーツセンター大会議室で、(一社)東京都スポーツ推進委員協議会・東京都主催の課題別研修会が開催されました。

東京都は2020年までに、週1回以上スポーツを実施する人の割合である、スポーツ実施率70%を達成することを目標としています。その達成に向けスポーツ推進委員として、「楽しく、無理なく、身体を動かす」ために「スポーツ・レクリエーションを使った運動」を活用した方法を学んできました。

講師は(一社)東京都レクリエーション協会参与 東京都レクリエーション・コーディネーター会会長 飯田弘氏です。



講義では二度目のオリンピックに多くの方が自国の選手に期待をかけているが、オリンピック・パラリンピック競技大会の本当の目的は、「みんなのスポーツ」なのです。オリンピック憲章には「スポーツをすることは人権の1つである。全ての個人はいかなる種類の差別を受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない」と規定し、全ての人がスポーツをする事「みんなのスポーツ」を求めています。

我が国でも1961年(昭和36年)に制定され、2011年(平成23年)全面的に改正された「スポーツ基本法」の前文に「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利である」と同法の基本理念を掲げています。

幸せな生活を営むために健康寿命(自立した生活期間)が大切である。最近のデータによると、平均寿命から男性は、9.39才、女性は11.27才自立して生活が

出来ない年数のデータが出ているので、平均寿命を延ばすより健康寿命を延ばすことが大切です。

わが国でも高齢者が自立して元気で健康に暮らす運動として「PPK運動」があり、地域(全国)で「病気にさせない」「寝たっきりさせない」「いつまでも健康に暮らす」活動が広まっており、「スポーツ・レクリエーション」に楽しみ、「健康寿命」延ばし(ピンピンコロリ PPK)の人生を送ることが家族・社会に対して最大の贈り物であり、元気に生活し続ける事が地域を元気にし、増大し続ける「医療費の削減」にも大きく貢献するということを認識する事も大切であると言われました。

実技に入り、時、人、場所を選ばず、すぐに誰でもが出来て楽しめるジャンケンゲーム20種類の中から、7種類を体験しました。

1. 進化論ゲーム(ゴキブリから神様へ)
2. コンピュータ(足し算・掛け算の名人)
3. こっち向けホイ・ジャンケン
4. ヘボヌケジャンケン
5. ジャンケンボーリング
6. ジャンケン野球
7. ジャンケンサッカー



実技の方法は実際にやらないと解らないと思いますが、たかが「ジャンケン」されど「ジャンケン」まさに目からウロコでした。

道具を使わないでも楽しめるゲームは、高齢者の方々にも、楽しんでもらえる競技(スポーツ)で、3時間があっという間に過ぎてしまいました。

記事 情報委員会 稲垣 美保 (中野区)
写真 情報委員会 長崎 より子(千代田区)

研修会



女性委員会企画研修会

12月1日(土) 14時～16時30分まで、中央区総合スポーツセンター 主競技場で女性委員会企画研修会が、行われました。

東京パラリンピック正式種目であるボッチャを通して、障がい者スポーツへの理解を深め、コート作りから審判が出来るまでを学び、スポーツ推進委員活動を通じて、地域住民への啓蒙を図ることを目的としました。



開講式後、東京都障害者スポーツ協会から4人の講師を迎え、講義・実技研修が開始。

参加申し込み122名当日数人の欠席はありましたが、8グループに分れ、コートレイアウト資料を各々手に

持ち、まずはコートづくりからスタートしました。1グループ13～14人、地域での活動と同様にコミュニケーションよく和気あいあいの中進みました。

疑問点はその都度講師に質問しながら解決するなど、コート作りはグループの競争に。そして8面の競技場と変わりました。

競技の概要、使用するコートやルールそして試合の流れの説明を受け、デモンストレーションを交えなが

ら、選手側と、ゲームの進行判定をする審判と審判の動きの所作を教えていただきました。



8グループに分かれて試合開始、選手6人・審判・副審に分かれ任意それぞれの方法で交代しながら繰り返し体験をしました。歓声があがり、笑い声や、落胆の声、声援と、講師のマイクの声は耳に届かず、試合は時間いっぱいまで続けられました。

普段はスタッフの立場にある推進委員ですが、この日はばかりはボッチャ大会の参加選手になって皆笑顔、笑顔。そして終了。その後、閉講式、片付けとあっという間に終わり、木枯らし吹く体育館を後にしました。参加者全員に拍手。

記事 白鳥 敏子 情報委員会 (北区)

写真 稲垣 美保 情報委員会 (中野区)

各地区の情報



情報ひろば

【渋谷区】

渋谷区スポーツ推進委員連絡協議会は、区内11地区の各地区体育会から3名ずつ選出された定員33名(現在32名)の組織です。

その活動は、行政だけではなく渋谷区体育協会等の関係諸団体とも連携を図り、様々なイベントの企画・運営・協力を行っております。主な企画・運営行事としては、各地域で行われる地区運動会、渋谷くみんの広場での子ども向けエア遊具(ふわふわ)があり、その他にも、渋谷区障害者団体連合運動会、しびやニュー駅伝、渋谷・表参道 Women's Run へのスタッフ派遣等の協力も行っております。

また、都スポ協の広域地区別研修会、青少年委員連絡協議会との交流会等の各種研修会に参加することにより、区民の健康増進に向けた知識習得にも励んでおります。

さらに各委員は、各地区の青少年対策地区委員会、

区立小中学校施設開放運営委員会のメンバーとしても日々活躍しております。



渋谷くみんの広場
「ふるさと渋谷フェスティバル2018」

渋谷区スポーツ推進委員連絡協議会 会長 天野長光

【葛飾区】

葛飾区スポーツ推進委員協議会は現在54名で活動をしています。

推進委員が企画している「区民健康体カテスト測定会」は、参加者にご自身の体力状態を知って頂き、生活に運動習慣を取り入れてもらうことを目的として、区内を7ブロックに分けて開催しています。体力年齢の判定や体組成測定も同時に実施しており、子どもから高齢者まで多くの方に参加して頂いております。



また、ニュースポーツの普及にも力を入れており、ここ数年はポッチャに取り組んでいます。

パラリンピック正式種目のポッチャですが、障害の有無に関係なく誰でも参加出来るレクリエーションポッチャとして捉え、多くの方に体験していただく機会を提供しています。

最近では指導依頼の声をかけて頂くことも増え、小学校の授業や教職員研修などにも出向き、会場や人数に合わせたゲームの楽しさを伝える機会も出来ました。

区主催のスポーツ事業にも積極的に協力しており、「かつしかスポーツフェスティバル」、「かつしかふれあいRUNフェスタ」では、推進委員が各スタッフを取りまとめるチーフとなって、中心的な役割を担っています。

今後も、区のスポーツ事業への協力はもとより、ニュースポーツの普及もさらに種目を増やし、たくさんの方にスポーツの楽しさを伝えていきたいと考えております。

葛飾区スポーツ推進委員 鈴木 奈保美

【日野市】

日野市のスポーツ実施率は50%未満であり、まだまだ未実施者へのアプローチが必要な状況です。日野市スポーツ推進委員では以下3つの柱を中心に、ベテランから今年加入した新人までがしっかりと連携をして過去の経験から学び、新たなひらめきを融合させ、まずは自分たちが楽しくをモットーに活動しています。

1つ目の柱は、まずは家から出て少し歩きましょうという『ちょこっとウォーキング』の実施です。過去には10km程のウォーキングも企画していましたが、習慣のない方にとって10kmはきついという声があり約5kmのちょこっとウォーキングが好評です。

2つ目の柱はユニバーサルスポーツの交流会です。市内の障害者施設へポッチャやハンドロウルの出前指導を継続して続けてきた成果があり、障害者の方もスポーツに取り組む下地ができてきました。

そこで、各施設へのお出前で伺っていたスポーツ教室



を、2年程前より、市内の体育館に各施設から集まってもらい、ユニバーサルスポーツでの交流会が始まりました。

いつもと違う雰囲気でもより一層楽しんで頂いているようです。

3つ目の柱はスポーツ体験会の実施です。

市内各地小学校の体育館を利用し、その地域の親子、特に働き世代の親たち、定年後のリタイア世代へ向け、運動の機会を提供しています。

日野市スポーツ推進委員 議長 真崎 裕介

【奥多摩町】

奥多摩町スポーツ推進委員会は9名の委員で構成されており、年間事業は町民を対象としたハイキング、小学生を対象とした放課後スポーツ教室、ニュースポーツの普及を目的とした冬季研修会などを行っております。



また、体育協会事業や町の事業にも積極的に協力し、スポーツ等の普及及びニュースポーツ等の普及、町民の健康づくりに取り組んでおります。

今年度から始まった奥多摩スポーツフェスティバルでは、ポッチャやディスクゲッター、ス

ポーツ輪投げのブースをスポーツ推進委員会で担当し、子供から高齢者まで様々な方にニュースポーツを体験していただきました。

また、10月20日(土)には町民を対象としたハイキングを山梨県西沢溪谷にて実施し、奥多摩とは少し違った自然の中で、少し早い紅葉を堪能しながら、みんなで楽しく汗を流しました。

これからも町民の皆様がスポーツを楽しみ、誰もがスポーツに触れられる環境づくりを提供していけるよう、スポーツ推進委員のみならず、町全体と協力して事業を行っていきたいと思います。

奥多摩町教育委員会教育課社会教育係

主任 清水 洸佑

編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年は9年毎に担当する、関東スポーツ推進委員研究大会開催にあたり情報委員会では開催プログラム及び報告書を担当し、皆様方のご指導とご協力により作り上げることが出来ましたことに、あらためて感謝しお礼を申し上げます。

平成最後の年となるこの年、皆様にとって健康で、元気に色々なスポーツを楽しみながら地域で活動し、スポーツ実施率を伸ばしていきましょう。そして、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツ推進委員として記憶に残る活動をしていきましょう。

編集 情報委員会 才郷 正次 (東大和市)

#####